

令和7年度小学生と市長との懇談会 会議録（要約）

懇談会の内容

【中野小学校6年3組 1班の提案】

児童の提案（1班）

【中野市にお願いしたいこと】

- ①専門学校をつくってほしいです。中野市の人口は、去年の9月は40,520人だけど、今年の9月は430人減って40,090人になっています。これは、進学や就職のために外に出ていく人がいるからです。ぼくは声優を目指していますが、近くに専門の学校がありません。専門学校をつくって夢をサポートすれば、ここで頑張ろうとする人も増えると思います。

市長の回答

高校卒業後も地元に残る人と、進学や就職で市外に転出する人がいます。中野市へ戻ってこない人も多くいるのが現状ですが、戻ってきてもらえるように、就職先としての企業を誘致しています。一部の工場など景気が良くなってきているところもあります。

また、皆さんの給食費や、18歳までの子どもの医療費は市が負担しています。魅力ある中野市、教育の充実した中野市をつくることで、転出者を減らし、市外の人にも住んでもらえるよう、これからも努力していきます。

専門学校や大学の受け入れは随時行っています。ただ、日本には専門学校や大学が多くあり、一方で子どもが減っているため、定員割れを起こす学校が出てきています。経営が難しくなっていており、学校の数を減らすべきではないかという時代の流れがあります。

中野市は、農産物の生産がさかんで農業王国を目指しているので、特色のある専門学校や大学との連携は図っていきたいです。

【2班の提案】

児童の提案（2班）

【中野市にお願いしたいこと】

- ①公共施設を増やして、大人も子どもも楽しめる場所をつくってほしいです。そのために、空き家を取り壊して土地と道を拓げてほしいです。
- ②公園のトイレが汚れていたり、電気が薄暗かったりするので、気持ちよく使えるように綺麗にしてほしいです。

市長の回答

公園の公衆トイレは、市内に26か所あります。定期的に掃除をしていますが、綺麗に保つようにしますので、汚いトイレがあったら「22-2111」へ連絡してください。

空き家を取り壊して活用するという案について、例えば、旧長丘小学校は現在HUBLICという子育て拠点施設になりました。旧永田小学校は、400メートルトラックのある競技場になりました。

空き家は市民の方の持ち物なので、勝手に壊すことができません。おそらく市に1,000軒ほどあります。理由があっても壊さないといけない場合は、法律に則って強制的に壊すこともありますが、ほとんどは市が手を出すことはできないため、公共施設として活用するのは難しいです。

※市長回答後、児童から「空き家の持ち主が亡くなった場合はどうなるのか」という質問がありました。

その質問に対する市長の回答は以下の通りです。

亡くなった持ち主の子どもなど、親族に認めてもらわないと勝手に取り壊すことはできません。

【3班の提案】

児童の提案（3班）

【中野市にお願いしたいこと】

- ①幼稚園や保育園に入れたいひとのための施設を建ててほしいです。
- ②公園を増やしてほしいです。
- ③老人ホームを増やしてほしいです。
- ④いつでも使える体育館が欲しいです。

【湯本市長に聞いてみたいこと】

- ⑤老人ホームを建てるのにいくらかかりますか。

市長の回答

今、市内で幼稚園や保育園に入れたい人はいないので、施設をつくる予定はありません。4月から誰でも通園制度が始まり、3歳児未満の子なら一定時間のみ誰でも保育園に通うことができるようになります。

現在、市内には老人ホームが3か所あります。定員250人分です。しかし、施設への入所を待っている人も170人前後います。

新しく老人ホームを建てるには、1人分で1,600万円、仮に100人分とすると16億円かかるため、難しいです。古くなってきた老人ホームもありますが、洗濯機を新しくするなど設備を整えながら使っています。今ある老人ホームを長く利用できるようにするための工夫を大切にしています。

スポーツの普及のため、市民体育館などの施設を維持管理しています。今はお休みの日があるので、申請して使える時間に限りがあります。今後、市民の皆さんがいつでもどこでも気軽にスポーツを楽しめるような機会を充実させ、スポーツの普及に取り組みます。

タカギセイコーふるさとパークには体育館があります。ぜひ親御さんと行ってみてください。普段はあまり行かない場所に遊びに行くという手もあると思います。

HUBLICの体育館も開放されていたと思います。調べてみてください。

今のところ、公園を増やすことは考えていませんが、笠倉壁田橋のもとに「川にふれ・みて・つどう水辺の拠点」として川の近くで遊べる親水広場を整備しています。完成したら行ってみてください。

【4班の提案】

児童の提案（4班）

【中野市にお願いしたいこと】

- ①みんなが気持ちよく過ごせるよう、ゴミを減らすボランティア活動や呼びかけをしてほしいです。
- ②街中に木や植物を増やしてほしいです。

【湯本市長に聞いてみたいこと】

- ③中野市の自然環境についてどう思っていますか。
- ④公園などにポイ捨てが見られますが、中野市ではどんな対処をしていますか。

市長の回答

各家庭などから排出されるごみの量を減らすため、廃棄物を処理するための計画を立てています。ほかにも、地域と連携して市内の一斉清掃を行ったり、信州なかの環境フェアなどのイベントでごみ削減の広報を行ったり、高校生や地域ボランティアと協力して不法投棄のごみを回収したりと、様々な方法でごみの削減に取り組んでいます。

ポイ捨て等のごみがなく、住みよい街となるよう、今後も継続して様々な活動に取り組んでいきます。

皆さんが、中野市をもっと緑豊かにし、住み良い街にしたいと考えていることを、大変うれしく思います。

木や植物を増やすことで、夏の危険な暑さをしのげたり、綺麗な花が咲いて景観が美しくなったりと、様々な効果が期待されます。しかし、植える場所の確保、落ち葉や枯れ草、害虫の駆除など、問題点もあるため、たくさん増やすのは難しいこともあります。大きくなりすぎた木が、倒木などの危険を伴うこともあります。

ただ、皆さんが思うように、木や植物があれば市民同士の憩いの場を作ることができると思うので、大切な意見として受け止めたいと思います。

ポイ捨てのごみについては、ボランティアと協力して回収したりしていますが、高丘地区には、保護者と子どもと一緒に地域のごみ拾いを行うボランティア団体があります。街を綺麗にしたいという思いのある方は、このように自主的にごみを拾うという方法もあるので、考えてみてほしいです。

【5班の提案】

児童の提案（5班）

①熊が人里に下りてくるのは、食糧不足や森林伐採などが原因であると考えため、山に木の実のできる木や果物の木を人の手で植えてほしいです。そうすれば、動物が人里に下りてくるのが少なくなり、人との事故が減ると思います。CO2の削減にも繋がると思います。

②中野市では、野生動物と接触しないように、柵以外にどんな対策をしていますか。

市長の回答

人に危害を加える熊も出てきており、全国的に問題になっていますね。中野市は、大熊や平岡、豊田あたりに熊がよく出ます。今のところ人的被害はありませんが、猟友会や警察の方々の協力を得て、出没地域のパトロールをしてもらったりしています。

熊が下りてこないよう、山の整備をしたり、人里の畑に果物を残さないようにしたり、山と人里の間に緩衝帯という境界をつくったりと、今後も対策が必要です。

【6班の提案】

児童の提案（6班）

【中野市にお願いしたいこと】

①空き家をリノベーションして、はねだし品やきれいな果物や特産品を使ったお店をつくり、お店をやりたい人に貸し出すということをやれば良いと思います。そうすれば空き家を活用でき、農家さんもはねだし品や特産品を使えて喜ぶと思います。

【湯本市長に聞いてみたいこと】

②湯本市長はどんな中野市にしたいですか。

市長の回答

空き家をお店にするための工事費用に対し、市は補助金を出しています。また、お店をやっていた人がやめて手放したとき、すぐに次の人に入ってもらえるよう、12か月分の家賃の補助も行っています。

お金を貸す融資として、中野市中小企業融資制度にも取り組んでいます。今後も、空き家や空き店舗の有効活用を目指します。

空き家を活用して、はねだし品を売るというのは、良い考えだと思います。農家さんは、はねだし品が出ると人にあげることが多かったのですが、最近は安く販売したりもしています。

近年、子どもの数が減っていて、人口も減っています。物価も高騰しています。中野市としてやらなければいけない施策は、福祉やまちづくりなど様々な分野にわたっており、できることから取り組んでいきます。「こんなところなら住んでみたい」「安心できる場所だな」と思ってもらえるような中野市を目指していきます。

人それぞれ価値観は違いますが、取り残される人がいないよう手を差し伸べ、支えあえる繋がりをつくることも大切です。皆さんも一緒に、「薔薇色のふるさと」笑顔で暮らせる中野市にしましょう。